

災害被災者支援と災害対策改善を求める広島県連絡会（略称：広島県災対連）

広島災対連NEWS

N016 2015年2月9日発行

事務局：広島県労連 広島市東区光町 2-9-24-205 TEL082-262-1550 FAX082-261-5059

ブログ//h-kenroren.cocolog-nifty.com// E-mail/bwz23598@nifty.com

2月8日(日)に「被災者なんでも相談会」を実施

～26件の様々な相談が寄せられる～

広島県災対連と広島県生健会・広島北民主商工会主催で、2月8日（日）に「広島市土砂災害被害者なんでも相談会」と「悩みを解決・民商のなんでも相談会」を実施しました。

佐東公民館は、被災者相談10件、民商相談5件、学習会20人、午後のフィールドワーク15人。安佐北区地域福祉センターは、被災者相談1件、法律・生活3件、民商相談7件。要員は、佐東公民館28人、地域福祉センター18人で対応しました。

被災者相談は、深刻なものばかりで1人1時間以上の場合もありました。「家が全壊した。義援金などを支給されたが、とても足りない。」「自宅が砂防ダムの建設用地内で収用されることになる。保障はきちんとされるか不安だ」「災害後、耳鳴りがひどい。気持ちに波がある。」「家は大規模半壊だが、解体した。寂しさがこみ上げる。元の生活を取り戻したい・・・」などです。

国や自治体に対して要望していくことの必要性を実感した相談会となりました。



△10時から相談はひっきりなしに



△佐東公民館はぜんざいもふるまわれ

被災地学習会～災害から学ぶもの～

学習会は、日本地質学会会員の越智秀二さんが対応。学習会では、「8・20広島豪雨災害の特徴と問題点～災害から学ぶもの～」と題し、降水量や阿武山周辺の地質、急傾斜地崩壊危険箇所などを具体的に示しながら、土石流災害発生の要因を話されました。

午後は、緑井7丁目から阿武団地まで被災現場を歩いて、災害の状況や当時の問題点を歩いて回りました。

現地の人から、「今後計画される予定の避難道路として計画される道路の上に家があり、今後どうなるか不安」という声も聞きました。



△雪のまうち、現地視察

被災者生活再建拡充署名 14,889筆(2月9日)